

一人金婚の方々を表彰

最愛の伴りよを亡くし、一人で結婚50周年を迎えられた方々を祝うため、10月8日、町主催の一人金婚式が町公民館講堂で行われ、10人が表彰を受けました。

式ではまず住永町長から、出席者を代表して野口チズ子さん（広崎4町内）に感謝状と記念品が贈られました。

また、町長から「今日までご苦労がたくさんあられたと思います、が、先に亡くなられたご主人、奥様の分まで元気で頑張ってください」と祝辞がありました。



一人金婚の表彰を受けた皆さん



◀沖吉けい子さんの美しい歌声にうっとり



町婦人会からの思わぬ贈り物に感激

これに対し、山内ハナ子さん（谷川）が「人生半ばにして伴侶を亡くした悲しみを乗り越え、結婚50周年を迎えることができ、皆さまのご支援とご厚情に、改めて感謝します。表彰を励みとして、私たち一同、地域社会の発展のため微力ながら尽くすことを誓います」と謝辞を述べました。

式終了後、童謡歌手の沖吉けい子さん（広崎在住）から歌のプレゼントがあり、「ふるさと」「里の秋」など6曲を聴き、優しく美しい歌声に参加者は感動の涙を誘われていました。また、今年も町婦人会から表彰者全員に、手作りのエコバッグのプレゼントがあり、思わぬプレゼントに感激していました。

お元気な百歳3人を表彰

9月にめでたく百歳を迎えた3人に対し、町から敬老祝い金と表彰状が贈られました。表彰を受けたのは、住永ミヨシさん（黒石崎）、後藤マスエさん（蛭子町）、野間武二さん（惣領2町内）の3人。

住永さんは、明治43年9月20日生まれ。現在は三男の金司さん夫



100歳の表彰を喜ぶ住永町長と母ミヨシさん（左）

妻と一緒に暮らしています。やはり孫まで入れると50人を超えるという住永さんの長男は、表彰状を贈った住永町長です。6人のお子さんが揃ってお祝いに駆けつけ、町長の「みんな頑張るよるけん、長生きせなん」という声掛けに大きくうなずいていました。

だれよりも昔の木山の様子を詳しく知ると語った後藤さんは、明治43年9月27日生まれ。シルバーヘルパーとして老人ホームの慰問

などをされ、昔の木山の様子を語ってくれた後藤さん（右）



筋を伸ばした姿と笑顔が好印象の可愛いらしいおばあちゃんでした。野間さんは、明治43年9月26日生まれ。現在は町内の病院に入院中ですが、4、5年前までは歌が大好きで地域サロンにも参加していたおじいちゃんです。



町長のお祝いの言葉に喜ぶ野間さん（中央）

大好きで地域サロンにも参加していたおじいちゃんです。現在は、長男の武則さんと二男の康信さんに囲まれて暮らしています。